



C.school 通信 vol.5

2022年9月号

今月のトピック



9人の小学生が「読書感想文」講座に挑戦！

小学生の夏期講習では、普段の学習内容とは別に「読書感想文」の講座を行いました。小学3年生～小学6年生まで、今年は合計9人の小学生がチャレンジ。小学3年生も含めてすべての学年が「作文用紙3枚」という条件の中、全員がしっかり最後まで書ききることができました。(関屋)

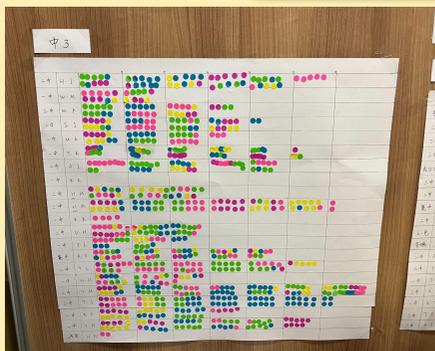
小6のYくん、夏期講習で6年生の算数をマスター！

夏期講習前は図形の問題に苦しみつつなんとかクリアした小6のYくん。夏期講習中に比例と反比例、並べ方と組み合わせ、データの調べ方と3つの単元を1週間で終了。そして最後の2週間で6年生の総復習まで終わらせてしまいました…！Yくんは集中力にムラがあり、もともと持っている高い集中力をうまく発揮できていませんでした。しかし今回の夏期講習では、目の前のユニットをクリアすることに集中し、3ヶ月ほどを見込んでいたカリキュラムを1週間で終わらせてしまいました。その集中力、私も見習いたいです…(藤井)

高3生、夏期講習中に1500語暗記！

毎日100～200個ずつ単語テストを繰り返しました。最初は多くの子が「そんなにいっぺんに覚えられない」とか「効率悪い」とかいうんですね。でも、実際にはそれが一番早いと思います。1日10分10個ずつとかやっていたら永遠に覚えられません。まずは時間を使って覚え切る。何周も何周も繰り返します。すると、すぐに思い出せるようになり、自分なりの学習パターンが掴めてくる。ヒーヒー言いながらもやりきった子たちは、口を揃えて「読める文が増えました！」と言います。学力が伸びるのは、自分の脳に負荷をかけた人です！(風間)

中間試験対策が始まりました！



夏期講習が終わったばかりではありますが、中学生の9月定期試験対策が早速始まりました！(江戸川区は中間、江東区/墨田区は期末)
今回の定期試験は中学校によって時期が異なるため、試験対策期間も「一か月間」の長丁場。
夏期講習中につけてきた力を全員が発揮しきれるよう、ここから試験対策期間で仕上げていきましょう！(関屋)

9月の主な取り組みとお知らせ

<全体>

以下、9月のお休み予定です。
・9/19(月/祝)→敬老の日、9/23(金)→秋分の日
※ただし、9/19(月)は三中制の試験対策のみ実施。
・9/26(月)～9/30(金)→定期試験後オフ(小中学生)

<高校生>

・お休みの日が授業日となっている高1-2生は個別で別日に調整します。

<中学生>

・「8/25～9/21」の期間にて、試験対策を実施中です。詳しくはメール【「中学生」試験対策のスケジュールご案内】をご覧ください。

<小学生>

・「火曜日、水曜日、金曜日：各1コマ、月曜日：2コマ」の振替が発生します。メールご案内の日程フォームにご登録ください。



<自由アンケート>
C.schoolに対するご意見・感想等のコメントがある方はこちらより、お願いします。

～ 教育の道をゆく～

「何か失敗した時、その後はどう反応するかが大切」。受験勉強を頑張っている中学 3年生に、最近このような言葉を伝える機会がありました。

例えば…

『うっかり寝坊してしまい、開始時間に遅刻してしまった。』
寝坊しないように気を付けていても、時にそういったことが起こることはあるかもしれない。でも大切なのは、また次も同じように寝坊を繰り返してしまうのか。もしくはその次からは、開始の 10分前にはいつも到着できるように行動するのか。この一回の寝坊自体は、長い目でそれほど大きなインパクトはないかもしれないものの、「それ以降の行動」がどうであるかによって、その先の未来は大きく変わっていくはず。

『テストの点数が悪かった。』
頑張ったつもりで勉強していても、思ったような結果が出ないこともあるかもしれない。その時に、「もう無理だ、やめよう」と思って立ち止まってしまうのか。もしくは、何が良くなかったのかを自分なりに振り返り、「次はこうしてみよう」改善してみるのか。どちらの選択を繰り返すかによって、それからの伸び方は大きく異なるはず。

「失敗してしまうこと」や「ミスをしてしまう」ことは、何かに取り組んだ時には、当たり前のように起こるもの。失敗だって、ミスだって、子どもに限らず大人でも、誰にだってあるもの。

大切なのは、「その後」。特に「直後」。失敗を見つめ、「その後」の「行動」に変化があれば、きっと周りの人で気づいてくれる人もいるはず。「その後」の行動が良ければ、むしろ、「何もなかった」時よりも、周りからの評価すら上がるかもしれない。(初めから「10分前」到着が出来ていた人よりも、寝坊していた人がそうなった方が、むしろ、周りは「おっ」とも思うはず)。

「ピンチはチャンス」。特に受験勉強をしていると、ミスや失敗を経験する機会は数多くありますが、その度に、そこから一つ成長していつもらえたらと思っています。(関屋)